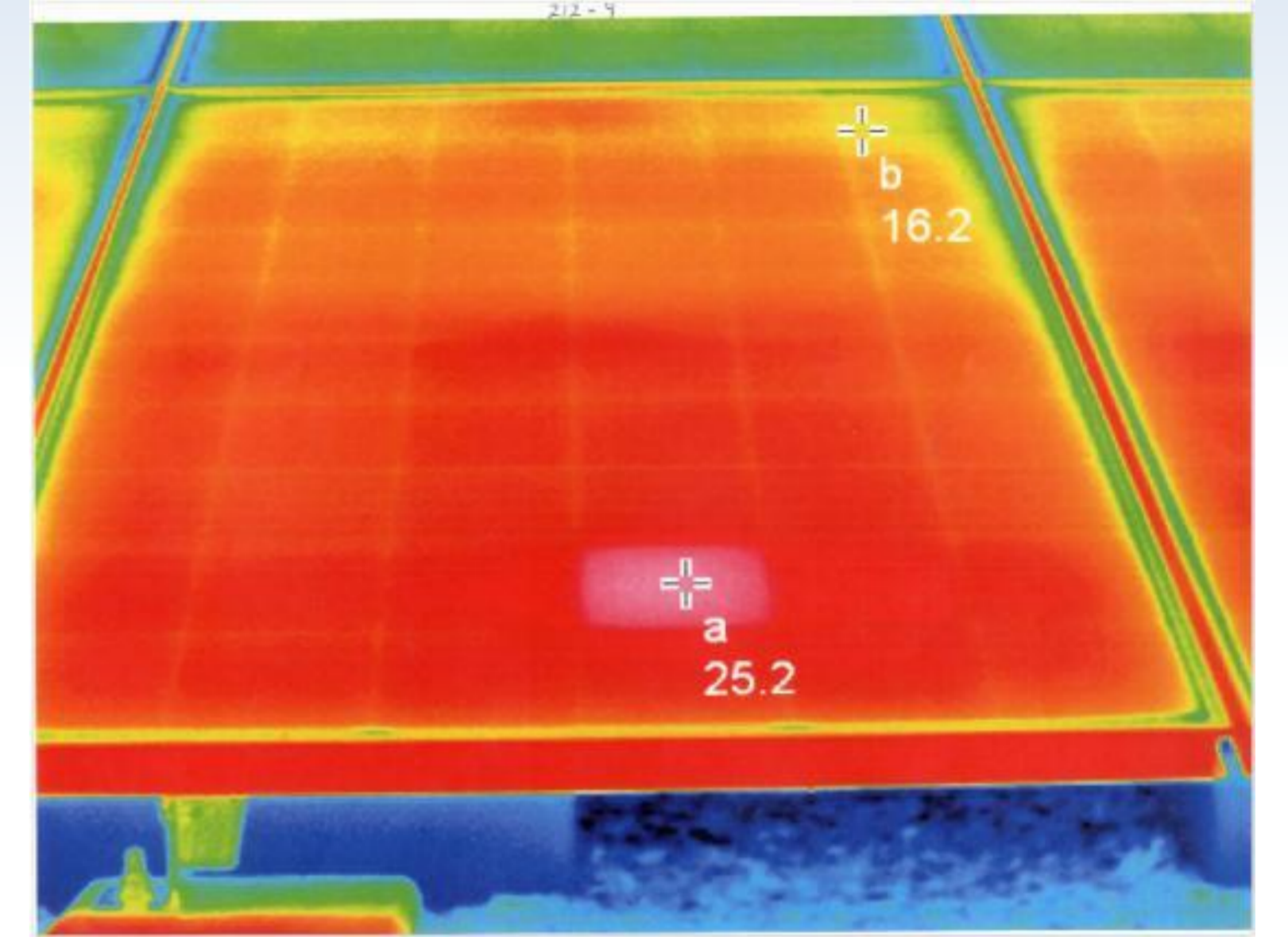


太陽光発電設備の保守・点検の効率化

コストダウンと省力化をめざして！



マルチコプター



ホットスポットの例

背景・目的

- 太陽光発電設備を長期間安定に運用するためには
 - 設備維持管理費用の**コストダウン**による収益向上が必要
 - 保守費用低減のため**点検の効率化**（省力化）が必要
 - **劣化状況**を把握し、その**進展**を正しく予測することが必要

取組

- 保守・点検の効率化のため、当社では下記の取り組みを行っております。
 - ① **ホットスポット**測定に**マルチコプター**を利用する技術を開発しました。
 - ② 20年以上使用した太陽電池パネルを調査し、経年による劣化状況を把握しました。
 - ③ 不具合兆候のあるパネルの将来の性能変化について調査を開始しました。

成果

- 効率化への取り組みにより下記の成果が得られております。
 - ① **マルチコプター**の利用により、**省力化**と**コストダウン**が可能であることが分かりました。
 - ② 経年による性能低下の原因と、**ホットスポット**の発生状況を把握しました。
 - ③ 加速劣化試験により、現行パネルの今後の変化を調査しております。

● 当社のメガソーラー設備



名称	メガソーラーいいだ
所在地	長野県飯田市
出力	1,000kW
想定年間発電量	100万kWh
運転開始	2011年1月
敷地面積	約1.8万㎡



名称	メガソーラーたけとよ
所在地	愛知県武豊町※
出力	7,500kW
想定年間発電量	730万kWh
運転開始	2011年10月
敷地面積	約14万㎡

※三重県川越町に移設予定



名称	メガソーラーしみず
所在地	静岡県静岡市
出力	8,000kW
想定年間発電量	840万kWh
運転開始	2015年1月
敷地面積	約14万㎡